



すすんで やさしく こんきよく ~みんなでつくろう 楽しい学校!~

あけましておめでとうございます! やさしいっばい、笑顔っばいの学校に

新しい年(令和4年、2022年)をむかえました。
今年も、児童のみなさんへ思いをこめて、この詩を紹介します。

「かんがえるのって おもしろい」

谷川 俊太郎

かんがえるのって
どこかとおくへ
しらないけしが
そのあおさが
このおかのうえ
みらいにむかって
なかよくするって
けんかするのもし
らないきもちが
まえよりもっと
このおかのうえ
みんなのちからで

おもしろい
いくみたい
みえてきて
ふかくなる
このきょうしつは
とんでいる
ふしぎだね
いいみたい
かくれてて
すきになる
このがっこうは
そだってく



子どもたちがお互いのいいところを見つけて、手紙でその気持ちを伝えあう「みんなのキラリ伝えます。」に取り組んで、今年で二年目になります。「この取組だけのためではないとは思いますが、一学期は子どもたちのやさしさを感じる場面がたくさんありました。」

困っている子に声をかけて助けてあげたり、いけないことをしているときは「あかんで。」と注意したりする子が少なくありませんでした。とてもうれしことです。三学期も子どもたちのやさしさと笑顔をいっぱい引き出すことができるよう、さらに工夫を加えて取り組んでまいります。

学校は、新しいことをまなび、自分の世界を広げていく場所です。
学校は、友だちとけんかをして、それをのりこえて、さらになかよくなることのできる場所です。
学校は、みんなの思いに支えられ、楽しさを感じることでできる場所です。
さあ、新しい年、津田校をそんな「楽しい学校」にできるよう、みんなで協力してすすんでいきましょう。

【学校教育目標】

すすんで

- ・しっかり考えて行動しよう。
(勉強、あいさつ、そうじ・整とん、話を聞くなど)

やさしく

- ・みんなでなかよく、助け合おう。

こんきよく

- ・ねばり強く最後までやりぬこう。



12/10 みんなで縄飛びをする子どもたち

たきびな 楽んしつと
まがわしな て、たび
しでとく でみりあ

なわとび週間

二十分休憩の時間に、全校でなわとびを行いました。ペア学年や、つだっ子班で教え合ったり、長く

津田校の児童193名はみんな仲間です。やさしい気持ちをもって、お互いに助け合いながら、目標に近づけるようにがんばりましょう。

11/26 朝日新聞社で記念写真をとる5年生



山のよさを感じてくれたことでしょうか。新聞社では印刷のしくみを学び、記念の新聞を作った。いただきました。

五年生 社会見学

堺市にある堺自然ふれあいの森と朝日新聞社の印刷所に出かけました。自然の森では豊かな自然にふれ、里



11/8 生長さんの話を聞く3年生

生長さんからお話を聞きました。視覚障がいがあるからこそわかること、できることを大切にして前向きに生きる生長さん。子どもたちは思いやりやあきらめない心など多くのことを学びました。

盲導犬とともに

三年生が盲導犬とともに生活しておられる

<2,3月の予定>

- 2/6(日) 日曜参観
- 2/7(月) 参観代休
- 2/15(火) 入学説明会
- 3/18(金) 卒業式
- 3/24(木) 修了式

日	曜	1月行事予定
1/11	火	始業式
12	水	短縮授業(給食あり) 13:35 下校 1年2測定
13	木	短縮授業(給食あり) 13:35 下校 2年2測定 生活アップ習慣(~19日まで)
14	金	児童委員会 3年2測定
17	月	放課後学習低学年
18	火	5年2測定 放課後学習高学年
19	水	一斉下校 6年2測定
21	金	クラブ
24	月	放課後学習低学年
25	火	放課後学習高学年
26	水	1年国語研究授業 2~6年 13:35 下校 1年 14:50 下校
28	金	ひまわり号 クラブ
31	月	家学キャンペーン(~2/4日まで) 放課後学習低学年 456年ピーチコーミング(午前)

いまこそ夢を

校長 坂本 幸仁

みなさんはジョン・レノンの「イマジン」という歌を知っているでしょうか。この曲が世の中に出たのは1971年。当時小学6年生だった私も、どこかでこの曲を耳にしていたはずなのですが、残念ながら子どもの頃の記憶には何も残っていません。

私がこの曲をはっきりと意識したのはジョン・レノンが銃弾に倒れ亡くなった時でした。いまから40年前の話です。彼が亡くなった後も、この歌は世界中の人々に歌い継がれ、今も色あせることなく名曲として残り続けています。

国境も地獄もなく、殺し合いもしない。この歌はこんな理想の世界を思い浮かべて歌詞にされたものです。ジョンは「ぼくのことを夢想家（実現できないことばかり考える人）と思うかもしれない。」と語りかけています。

新型コロナウイルスの新たな株の感染が急速に広がりつつある中で、「夢を語る」ことは忘れられがちだと思います。世の中全体が目前の問題に対応するのが精いっぱいというのが現実で、学校も決して例外ではありません。

しかしこんな困難な時代だからこそ、コロナの先を見すえた夢といえる大きな目標を持って、今なすべきことをよく考え、着実に一歩ずつ進んでいくことが大事だと思うのです。

他の人と比べたり人からの評価を気にしすぎたりせず、自分の夢(目標)にむかって何が大事なのかを考え、ひたむきに努力すること。そのことが子どもたちの人生をきっと豊かにしてくれるはずです。

学校は今後も、子どもたちの目線に立った「楽しい学校」づくりに取り組むとともに、将来の自立にむけて必要な基礎的な力がどの子にもしっかりと身につくように、子どもたち一人ひとりに思いを持って、ていねいに関わってまいります。

保護者、地域の皆様には本年も、率直なご意見とともに、あたたかいご支援をいただけますようお願い申し上げます。